

「FAQ」（営業終了経緯について）

Q1. なぜやめてしまうのですか？

A1. 以下の３点が主な理由です。

① 運営・維持費の増大

- 令和３年度：運営費 約２億４,０００万円、営繕費 約２億４,５００万円
- 令和４年度：運営費 約２億７,９００万円、営繕費 約２億５,３００万円
- 令和５年度：運営費 約３億４,８００万円、営繕費 約２,５００万円

このように多額の費用を継続的に投じていること。また、老朽化に伴い今後さらに修繕費用の増大が見込まれるため、組合財政が悪化する前に対策をする必要があると判断いたしました。

② 利用者の偏り

当施設は「組合員の心身のリフレッシュ」を目的に営業開始しましたが、近年は組合員以外のご利用が大半を占めております。また、利用される組合員の大多数が関東地方の１都６県の方々に偏っており、全国の組合員に公平な事業になっていない点が課題でした。

③ 代替事業への承継

- 現行の旅行費補助制度は、全国の宿泊施設を各自のライフスタイルに合わせた選択可能な多くのメニューがあることから、利用者数・支給額ともに増加傾向にあります。
- 新たに導入した福利厚生倶楽部事業（リロクラブ）では、熱海エリアを含む複数の宿泊施設を会員サイトから利用でき、さらに補助制度との併用によりコスト面・利便性ともに大きなメリットがあります。
- 健保組合間で共同利用として提供されている他の健康保険組合が保有する施設（伊豆山温泉保養所等）にて、研修室・プール・テニスコート等を利用することができます。

Q2. この施設（熱海リフレッシュセンター）はどうなるのですか？

A2. 第三者への売却または賃貸を前提に、現在、組合内部に特別委員会を設置し今後の方針について検討しているところです。決定した事項につきましては、組合ホームページに掲載してまいります。

Q3. なぜ令和 8 年 3 月末にしたのですか？

A3. 運営費・営繕費が財源に与える影響が大きく、早急な決断が必要と判断したためです。

Q4. 継続を望む声はなかったのですか？

A4. 営業の継続を希望されるご意見もいただきましたが、財政への影響や全国の組合員への事業の公平性を重視し、今後はすべての組合員に提供できる保健事業へと重点を移すことといたしました。

Q5. 利用状況は悪かったのですか？

A5. 施設の宿泊者数は、平成 6 年の約 1 万 3,000 人をピークに、その後は減少し、現在は 1 万人前後（外部利用者を含む）で推移しています。利用者の内訳を見ますと、令和 5 年度は組合員・家族が約 35%（2,700 人）、令和 6 年度は約 36%（3,500 人）であり、他の約 3 分の 2 は組合員・家族以外の利用でした。これは設立時の「組合員の～」という目的からは乖離している状況です。一方で、旅行費補助金の利用者は年々増加し、令和 6 年度には 3 万 5,000 人に達しています。（組合員・家族：8 万 8,000 人、各利用者数：延べ人数）

Q6. 健保組合の財政は厳しいのですか？

A6. 医療費の高額化や高齢者医療制度への納付金の増加に加え、令和 8 年度からは子ども・子育て支援金の徴収も開始されます。これらの要因により、今後さらに負担が増加していく見込みであり、組合財政は一層厳しくなると考えられ

ます。また、医療費等の増加率は賃金の上昇率を大きく上回っている状況が継続しています。

Q7. これに代わる事業はあるのですか？

A7. 福利厚生倶楽部事業（リロクラブ）を通じて、熱海エリアを含む全国の宿泊施設が利用可能です。また、旅行費補助制度との併用もでき、利便性・コスト面ともに大きなメリットがあります。さらに、今後もメニューの拡大を検討してまいります。

Q8. いつまで宿泊（利用）できますか？

A8. 令和8年3月31日まで宿泊利用可能です。
ただし最終チェックインは3月30日まで、最終チェックアウトは3月31日となります。
